

研修テーマ	事例検討をしよう part 1
研修のねらい	<p>自校で事例検討を行い、一人一人に応じた指導・支援につなげることができる。</p> <p>Part 1：事例検討に必要な対象児の情報を収集し、主訴（子どもの困難さ）の背景・要因を考えることができる。（実態把握シートの活用）</p> <p>[キーワード] 話しやすい雰囲気 認知特性 環境 背景・要因</p>
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 認知特性や環境の視点をもとに、主訴に対する背景・要因を掘り下げて推察することができる。 見取りの質が高まり、主訴の背景・要因に応じた指導・支援の充実につながる。
事例検討のための事前の準備	<ol style="list-style-type: none"> 対象となる子どもの日頃の様子を見て、各自実態把握シートにチェックしておくる。（事例検討会に持ち寄る） 事例検討の記録用に事例検討ワークシート（または同内容を記録するためのホワイトボード）を準備しておく。 対象となる子どもについて説明できるよう、話題提供者は情報提供シートに記録し整理しておくとよい。
進め方の例と留意点(集合研修) ※留意点	<p>※全体の時間や演習等の時間は、目安として設定していますので、調整して進めてください。</p> <p>※「事例検討をしよう」は各 part を続けて実施したり、細分化して実施したりすることができます。各校の実情に応じて、調整し実施してください。</p> <p>※演習や検討時の意見を可視化し、後日振り返ることができるよう、記録に残しましょう。（ワークシートまたは板書等）</p>

事例検討をしよう part 1 ~①事実を整理 ②なぜ？を考える~40分(検討含む)

1 はじめの説明・動画の視聴

今回は、〇〇さんの困難さについて取り上げ、その理由（背景・要因）を認知特性等の面から推察していきます。背景・要因が見えてくると、指導・支援につながりやすくなります。この背景・要因を一緒に考えていきましょう。

※はじめに、担任・関係者から、対象となる子どもに関する主訴や状況について、話題提供していただくとよいでしょう。
(話題提供者は、情報提供シートをもとに子どもの情報を焦点化し説明するといいでしよう。)

2 検討 ①事実を整理 認知特性等からの実態把握 10分

では、それぞれチェックした把握シートを見ながら、子どもの認知特性等についての見取りをすり合わせていきましょう。

※メンバーが多い場合はペアで話し合った後、全体共有することもできます。
※共有の際には、視点が広がるよう、複数意見を可視化し取り上げましょう。

3 動画視聴～続き～

4 検討 ②なぜ？を考える 主訴に対する背景・要因の推察 20分 (ペア5分→全体 15分)

本人の得意・苦手が整理され、本人の困難さも見えてきたと思います。
主訴に関連する背景・要因について、認知特性や環境の影響等から推察し、さらに加除修正していきましょう。

※本人の困難さが見えてきた際、教師が感じている困りではなく、本人の困難さへ主訴が修正される場合も出てくるかもしれません。臨機応変に見直しましょう。

※話し合いで話題が広がってしまうことも考えられます。コーディネートの際には、実態把握シート（認知特性、環境）の視点に立ち返るよう声をかけ、整理していきましょう。

	<p>5 振り返り ※指導・支援の検討まで続けて行う場合は振り返りを省略 自校の事例をもとに対象となる子どもの背景・要因の推察を行いました。 本日の気付きを記録しておきましょう。次回は○月○日です。実態把握がさらに必要な部分は、次回までに確認し、チームで検討していきましょう。</p> <p>※まとめとして、<u>管理職</u>からひと言いいただくとよいでしょう。</p>
--	--